

平成21年度 音楽文化振興事業(いずみホール)

1. 平成21年度の概況

いずみホールは主催公演の開催等を通じてクラシック音楽文化の振興に寄与しています。平成21年度については総稼動日数が234日のうち、主催公演は32公演であり、共催公演を含めた公演数は35公演にのびりました。年間の入場者総数は123,481人となっています。また、平成2年度のオープン以来の入場者は265万人を超えました。

主催公演は例年並みの公演数で推移しましたが、貸館公演数は減少しました。世界的な景気後退の影響を受け、多額の経費がかかるうえ、821席というキャパシティを埋めることの難しさを抱えた個人リサイタルの減少、オーケストラ、オペラ団などの演奏団体の厳しい経営環境などが要因と思われます。また、新型インフルエンザ流行の影響も加わり、総入場者数も減少となりました。

	平成21年度 (前年度)		オープン以来	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主 催 公 演	32 (31)	17,974 (18,574)	723	424,402
共 催 公 演	3 (4)	1,769 (2,181)		
貸 館 (一 般 公 演)	185 (199)	103,738 (106,328)	4,096	2,253,502
貸館(レコーディング、式典等)	14 (3)	—	—	—
合 計	234 (237)	123,481 (127,083)	4,819	2,677,904

(注) 公演数には無料招待公演を含まない。貸館公演には受託公演を含む。

平成21年度の主催事業は、平成5年の第1回以来、ほぼ3年に一度開催している「ウィーン音楽祭 in OSAKA(全7回)」を10月に開催いたしました。6回目を迎えた今回は「ウィーンは歌う～大阪の秋を彩る豊穡の歌たち～」というテーマの下に、ウィーン楽友協会合唱団をメインゲストとして招聘し、様々な形での“歌”を披露しました。合唱団を筆頭に、各方面から高い評価を得ることができました。

しかし、世界的な景気後退の影響を受け、過去5回と比し一流アーティストが登場しても、音楽祭全体の盛り上がりは十分ではなく、チケットの売上も芳しくない状況もありました。「ウィーン」そのものの求心力の低下、短い期間に公演を集中させるやり方にも課題が見られました。

毎年春先に開催している、いずみホールオペラでは、日本の伝統芸能である能と、それにヒントを得て作曲されたオペラを2本立てでお贈りしました。また、3年目を迎えたドイツ・ライプツィヒのバッハ・アルヒーフの企画協力による「バッハ／オルガン作品連続演奏会」、レジデント・オーケストラであるいずみシンフォニエッタ大阪の定期演奏会など、ホール独自の制作による企画も好評を博しました。

次世代育成の取り組みとして、大阪市音楽団との連携で、小中学生をいずみホールにおいてクオリティの高い演奏を体験していただく企画をスタートさせました。次年度以降も継続してゆく予定です。

ほかにも18年目を迎え、70回を数えた「ランチタイム・コンサート」、若い客層をターゲットにした「MUSIC SUPPLEMENT」、子ども向け企画として定着してきた「子どもカレッジ」など、多彩なラインアップで、地域への音楽文化の普及に努めています。

2. 平成21年度主催公演

【年間主催公演一覧表】

日程	区分	内容
4 / 22	主催	有田正広～フルート400年の旅
4 / 30	主催	スティーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル
5 / 16	主催	能「隅田川」オペラ「カーリユーリバー」
6 / 9	主催	ランチタイム・コンサート vol.68～「音楽の原点」合唱
6 / 13	主催	いずみシンフォニエッタ大阪 第22回定期演奏会
6 / 16	主催	ジャン＝マルク・ルイサダ
6 / 18	主催	バッハ:マタイ受難曲
6 / 26	主催	タカーチ弦楽四重奏団
7 / 3	共催	大阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別演奏会 I
7 / 9	主催	日本の歌④～木下牧子を迎えて
7/30、31	主催	職場ふれあいコンサート
8 / 3	普及	音楽講座～大野和士のオペラ・レクチャー・コンサート
8 / 8	普及	いずみ子どもカレッジ2009～和太鼓ドンドコ・ライブ
8 / 27	主催	オルガン① ロレンツォ・ギエルミ
9 / 28	主催	ランチタイム・コンサート vol.69 木の温もりの楽器・木琴／マリンバ
10/10	主催	ウィーン音楽祭① マティアス・ゲルネ～シューマンを歌う
10/13	主催	ウィーン音楽祭② ピエール＝ロラン・エマール
10/15	主催	ウィーン音楽祭③ ウィーン・ヴィルトウオーゼン
10/18	主催	ウィーン音楽祭④ 古楽器アンサンブルの楽しみ
10/20	主催	ウィーン音楽祭⑤ 中嶋彰子「月に憑かれたピエロ」
10/21	普及	ウィーン音楽祭 シンポジウム
10/22	主催	ウィーン音楽祭⑥ 「天地創造」
10/24	主催	ウィーン音楽祭⑦ 大植英次 meets ウィーン楽友協会合唱団
11/11	主催	魅惑のオペラ・ガラ「それは、恋」
11/25	共催	グランプリ・コンサート2009
11/28	主催	いずみシンフォニエッタ大阪 第23回定期演奏会
12/ 1	主催	ランチタイム・コンサート vol.70 テレマン室内管弦楽団
1 / 9	主催	ニューイヤーコンサート～ウィーン・リング・アンサンブル
1 / 14	主催	オルガン② ジェームス・デイヴィット・クリスティ
1 / 27	共催	大阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別演奏会 II
2 / 5	主催	ミュージック・サプリ⑤ 塩谷哲&上妻宏光
2 / 17	主催	東京クワルテット
2 / 27	主催	いずみシンフォニエッタ大阪 第24回定期演奏会
3 / 8	主催	ランチタイム・コンサート vol.71～ピアノ・トリオは主役が3人
3 / 17	主催	須川展也プロデュース～星に願いを

主催公演の詳細は次のとおりです。

ウィーン音楽祭 in OSAKA 2009

協賛:NTT データ、塩野義製薬、竹中工務店、ベルシステム24

助成:文化庁(平成21年度芸術拠点形成事業)、日本万国博覧会記念機構

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
10/10 (火)	I マティアス・ゲルネ～シューマンを歌う 出演/マティアス・ゲルネ(バリトン)、 ピエール＝ロラン・エマール(ピアノ) 曲目/シューマン:歌曲集《女の愛と生涯》op.42、リーダークライス op.39	457名
	現在、世界最高峰のバリトン歌手ゲルネのシューマン歌曲集。気鋭のピアニスト、エマールがサポート。	
10/13 (火)	II ピエール＝ロラン・エマール～ウィーンの息吹とパリのエスプリ 出演/ピエール＝ロラン・エマール(ピアノ) 曲目/モーツァルト:ピアノ・ソナタ第6番、ショパン:子守歌 op.5 ほか	351名
	フランス出身の気鋭のピアニスト。日本では知名度は高くないが、世界的に高い評価を受けている。	
10/15 (木)	III ウィーン・ヴィルトゥオーゼン～名曲の散歩道 出演/ウィーン・ヴィルトゥオーゼン 曲目/モーツァルト:交響曲 第29番 イ長調 K.201 ほか	547名
	ウィーン・フィルの名手たち11名による室内楽。まさにウィーンの香りたっぷりの高品質で聴衆を楽しませるコンサート。	
10/18 (日)	IV 古楽器アンサンブルの楽しみ～銘器シュトライヒャーを囲んで 出演/小倉貴久子、桐山建志、長岡聡季、花崎 薫、笠原勝二 曲目/ベートーヴェン:交響曲 第2番、 シューベルト:ピアノ五重奏曲《ます》 ほか	314名
	フォルテピアノの名手、小倉貴久子とその仲間たちによる室内楽。いずみホール所有のフォルテピアノを使用し、作曲当時の音世界を再現。	
10/20 (火)	V 中嶋彰子/「月に憑かれたピエロ」 出演/中嶋彰子(ソプラノ)、ニルス・ムース(指揮/ピアノ)、 いずみシンフォニエッタ大阪 曲目/シェーンベルク:浄夜、月に憑かれたピエロ op.21 ほか	352名
	ウィーン在住のソプラノ歌手、中嶋彰子がウィーンの大作曲家シェーンベルクの難曲に挑む企画。いずみシンフォニエッタ大阪のメンバーも登場。	
10/22 (木)	VI 「天地創造」～ウィーン楽友協会合唱団を迎えて 出演/ヨハネス・プリンツ(指揮)、幸田浩子(ソプラノ)、 波多野均(テポール)、今尾 滋(バリトン)、 ウィーン楽友協会合唱団、関西フィルハーモニー管弦楽団 曲目/ハイドン:オラトリオ《天地創造》	654名
	カラヤンがかつて積極的に起用した楽友協会合唱団を独自招聘。30年ぶりの来日。ハイドン没後200年記念で「天地創造」を選曲、指揮には合唱団指揮者ヨハネス・プリンツを起用。	

10/24 (土)	VII 大植英次 meets ウィーン楽友協会合唱団 出演／大植英次(指揮)、釜洞祐子(ソプラノ)、三原 剛(バリトン) ウィーン楽友協会合唱団、大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目／ブラームス:哀悼歌 op.82、ドイツ・レクイエム op.45	776名
	今、最も人気の高い指揮者のひとり大植英次を起用。この合唱団が最も得意とするブラームスを選曲。	



(大植英次 meets ウィーン楽友協会合唱団)



(中嶋彰子／「月に憑かれたピエロ」)

新・音楽の未来への旅シリーズ

協賛: きんでん、トランスコスモス、NTT 西日本

助成: 文化庁(平成21年度芸術拠点形成事業)、ローム ミュージック ファンデーション

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
6/13 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第22回定期演奏会「星の彼方へ」 出演／飯森範親(指揮)、安藤史子(フルート) 曲目／シュトックハウゼン:5つの星座、続5つの星座 ほか ドイツの大作作曲家で前衛音楽の旗手シュトックハウゼンを特集。また、関西出身の若手作曲家山根明季子にも作曲委嘱し世界初演。	405名
	人気絶頂のギタリスト村治佳織をゲストに迎え、南米音楽特集。ロビーコンサートやプレ・トークなども好評。	
11/28 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第23回定期演奏会 「降り注ぐ太陽、熱狂のリズム」 出演／阪 哲朗(指揮)、村治佳織(ギター)、 北村 聡(バンドネオン) 曲目／ピアソラ:バンドネオン協奏曲、ヴィラ=ロボス:ギター協奏曲 ほか	705名
	人気絶頂のギタリスト村治佳織をゲストに迎え、南米音楽特集。ロビーコンサートやプレ・トークなども好評。	
2/27 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第24回定期演奏会「旋律とリズムの交差」 出演／飯森範親(指揮)、東口泰之(ファゴット) 曲目／ビゼー(シCHEDリン編):カルメン組曲 ほか	494名
	弦楽器と打楽器中心のプログラム。「カルメン」を題材にした親しみやすい選曲。	



(いずみシンフォニエッタ大阪 第23回定期演奏会) (いずみホールオペラ「カーリュウ・リヴァー」)

いずみホール・オペラ

協賛:関西電力、パナソニック・システムソリューションズ・ジャパン

助成:文化庁(平成21年度芸術拠点形成事業)、三菱 UFJ 信託芸術文化財団

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
5/10 (土)	岩田達宗プロデュース いずみホールオペラ「隅田川」「カーリュウ・リヴァー」 出演／観世鍔之丞、福王和幸、藤田六郎兵衛、大倉源次郎、大槻文蔵、 齋藤信輔、経種康彦、晴 雅彦、西田昭広、老田裕子、花月 真、 高関 健 ほか 曲目／観世元雅:能「隅田川」、 ブリテン:オペラ「カーリュウ・リヴァー」	726名
	能の名作「隅田川」とその作品にヒントを得て作曲されたブリテンの「カーリュウ・リヴァー」を同時上演。	

ランチタイム・コンサート

協賛:JTB 西日本

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
6/9 (火)	ランチタイム・コンサート vol.68 「音楽の原点」合唱 出演／本山秀毅(指揮)、びわ湖ホール声楽アンサンブル 曲目／「赤とんぼ」「上を向いて歩こう」、 『カルメン』より“ハバネラ”ほか	734名
	生誕200年のメンデルスゾーン、日本の調べ、オペラ・アリアの3部構成。 声楽アンサンブルの魅力を存分に引き出す選曲。	

9/28 (月)	ランチタイム・コンサート vol.69 “木の温もりの楽器”木琴、マリンバ 出演／通崎睦美(木琴、マリンバ)、平林知子(ピアノ) 曲目／フォスター:おおスザンナ、金髪のジェニー、 ピアソラ:リベルタンゴ ほか	751名
	前半マリンバ、後半木琴を使用。それぞれの楽器の違いを紐解いて行く趣向。	
12/1 (火)	ランチタイム・コンサート vol.70 第70回記念「オリジナルとモダン楽器の使いわけも」 出演／延原武春(指揮)、テレマン室内管弦楽団 曲目／J.S.バッハ:G線上のアリア、ヴィヴァルディ:《四季》より“冬” ほか	645名
	70回記念でテレマン室内管弦楽団を起用。モダン楽器と古楽器の使い分けやフォルテピアノ、チェンバロも使用しバラエティに富んだ企画。	
3/8 (月)	ランチタイム・コンサート vol.71 ピアノ・トリオは、主役が3人 出演／大谷玲子(ヴァイオリン)、林 裕(チェロ)、 岡本麻子(ピアノ) 曲目／ドヴォルザーク:ピアノ三重奏曲 第4番 ホ短調「ドゥムキー」ほか	734名
	ピアノ、ヴァイオリン、チェロの組み合わせ。この編成の魅力を伝える企画。それぞれのソロからピアノトリオの名曲までを選曲	

その他公演

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
4/22 (水)	有田正広「フルート400年の旅」 出演／有田正広(フルート) 有田千代子(チェンバロ、フォルテピアノ) 曲目／クーペラン:恋のうぐいす、 J.S.バッハ:ソナタ ホ短調 BWV1034 ほか	350名
	9種類のフルートを吹き分け、ルネサンス次代から現代まで、フルート楽曲の変遷を辿る企画。	
4/30 (木)	スティーヴン・イッサーリス 出演／スティーヴン・イッサーリス(チェロ)／コニー・シー(ピアノ) 曲目／メンデルスゾーン:チェロ・ソナタ、 マルティヌー:チェロ・ソナタ ほか	419名
	現代チェロ界のトップ奏者。2009年が記念の年となる作曲家のチェロ作品集。	

6/16 (火)	<p>ジャン＝マルク・ルイサダ 出演／ジャン＝マルク・ルイサダ(ピアノ) 曲目／ショパン:3つのノクターン op.9、 シューマン:子供の情景 op.15 ほか</p>	705名
	<p>根強い人気を誇るルイサダのリサイタル。シューマン、ショパンなどロマン派音楽を特集。</p>	
6/18 (木)	<p>J.S.バッハ「マタイ受難曲」 出演／ジョシュア・リフキン(指揮)、 ケンブリッジ・コンツェントウス ほか 曲目／J.S.バッハ:マタイ受難曲 BWV244</p>	424名
	<p>ジョシュア・リフキン提唱による最小編成の「マタイ受難曲」。国際交流も踏まえ、日米若手演奏家による共演企画。</p>	
6/26 (金)	<p>タカーチ弦楽四重奏団 出演／タカーチ弦楽四重奏団 曲目／モーツァルト:弦楽四重奏曲 第21番 ニ長調 K.575 ほか</p>	370名
	<p>2006年に取り上げ、非常に評価が高かったグループの再登場。</p>	
7/9 (木)	<p>日本のうた 第4回 ～木下牧子を迎えて～ 出演／佐竹由美、宮本益光、加藤昌則、木下牧子、礒山 雅 曲目／諸井三郎:少年、木下牧子:涅槃、鷗、加藤昌則:あしたのうたほか</p>	311名
	<p>シリーズで開催している日本のうたの4回目。現代の人気作曲家、木下牧子に焦点をあてた企画。</p>	
7/30 (木) 7/31 (金)	<p>職場ふれあいコンサート 出演／寺岡清高(指揮)、大阪シンフォニカー交響楽団 曲目／ハイドン:交響曲 第45番「告别」より、 J.シュトラウスII:皇帝円舞曲 ほか</p>	650名 750名
	<p>職域対象の非公開の公演。クラシック音楽へのきっかけづくりのためのコンサート。</p>	
8/27 (木)	<p>バッハ・オルガン作品連続演奏会 Vol.5「ライブツィヒの巨匠バッハ」 出演／ロレンツォ・ギエルミ(パイプオルガン)／礒山 雅(お話) 曲目／J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ホ短調 BWV548 ほか</p>	665名
	<p>人気シリーズの5回目。このシリーズの中でももっとも知名度があり注目されるオルガニスト。</p>	
11/11 (水)	<p>Cedyna Special Classic Concert 魅惑のオペラ・ガラ「それは、恋」 協賛:セディナ 出演／吉原圭子(ソプラノ)、森口賢二(バリトン)、 河原忠之(ピアノ) ほか 曲目／G.ビゼー:歌劇「カルメン」ハイライト ほか</p>	491名
	<p>スポンサー用企画。イタリアから歌手をひとり招聘し、その他は日本人キャスト。「カルメン」中心の親しみやすい選曲。</p>	

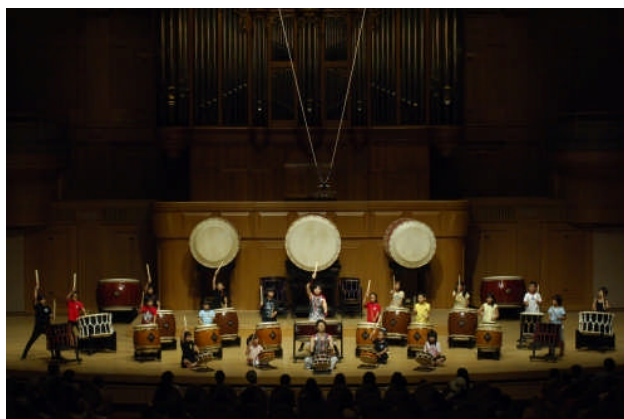
1/9 (土)	<p>ALSOK PRESENTS ～いづみホール・ニューイヤー・コンサート2010～ 協賛:総合警備保障 出演/ウィーン・リング・アンサンブル 曲目/J.シュトラウスⅡ:「ジプシー男爵」序曲、 ワルツ「ウィーン気質」ほか</p>	753名
	<p>毎年恒例のニューイヤー・コンサート。ウィーン・フィルのトップ奏者によるコンサート。</p>	
1/14 (木)	<p>バッハ・オルガン作品連続演奏会 Vol.6「バッハの遺言」 出演/ジェイムズ・ディヴィット・クリスティ、 ジョン・フィニー(パイプオルガン) 曲目/J.S.バッハ:《フーガの技法》BWV1080</p>	513名
	<p>シリーズ6回目。アメリカを代表するオルガニストを招聘。難曲であり難解な「フーガの技法」に挑戦。</p>	
2/17 (水)	<p>MUSIC SUPPLEMENT vol.5 上妻宏光・塩谷哲 “AGA-SHIO” 協賛:ローゼン 出演/上妻宏光(津軽三味線)、塩谷 哲(ピアノ) 曲目/じょんから、秋田馬子唄、Yesterday、The Dew of Life ほか</p>	748名
	<p>若い女性をメインターゲットにしたシリーズの第5弾。ジャズ・ピアノと津軽三味線のコラボレーション。</p>	
2/27 (金)	<p>東京クワルテット 出演/東京クワルテット 曲目/ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調 op.74「ハーブ」 ほか</p>	406名
	<p>2009年度に登場し、高水準の演奏を聴かせた老舗カルテット。日本デビュー40周年を記念し、当時のプログラムを再現。</p>	
3/17 (水)	<p>YAMAHA PRESENTS ～須川展也プロデュース～ 星に願いを 協賛:ヤマハ 出演/須川展也(サクソフォン)、奥村 愛(ヴァイオリン)、内田奈織(ハーブ) ほか 曲目/チックコリア:スペイン、ピアソラ:リベルタンゴ、ビートルズ:ミッシェル ほか</p>	668名
	<p>2009年12月に予定していた中止になったトルヴェール・カルテットの代替公演。クラシック、映画音楽、ジャズなど親しみやすい選曲。</p>	

普及事業

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
8/3 (月)	音楽講座2009 大野和士のオペラレクチャー・コンサート in 大阪 出演／大野和士、天羽明恵、並河寿美、藤田美奈子、松本薫平、 泉 良平、井原秀人 内容／ヴェルディ:『椿姫』、『リゴレット』などの名場面	754名
	今や世界的指揮者となった大野和士氏によるオペラ・レクチャーコンサート。初心者から通まで楽しめる内容。	
8/8 (土)	いずみ子どもカレッジ2009 和太鼓ドンドコ・ライブ 出演／和太鼓グループ 打打打団 天鼓 内容／小学生対象のワークショップとコンサート	490名
	毎年行っている子供向け企画。ワークショップでは20数名の子供たちが和太鼓を体験。	
10/21 (水)	ウィーン音楽祭 in OSAKA 2009 シンポジウム (会場／ホテルニューオータニ大阪) パネリスト／トーマス・アンギャン、ヨハネス・プリンツ ほか テーマ／ウィーン 楽友協会合唱団の伝統を語る	150名
	ウィーン音楽祭の関連イベント。ウィーンから4名のパネリストに出演。	



(大野和士のオペラレクチャー・コンサート)



(いずみ子どもカレッジ2009)

共催公演

公演日	公演名・主な出演者、演奏曲目、コメント	入場者数
7/3 (金)	大阪フィルハーモニー交響楽団 いたみホール特別演奏会Ⅰ 出演／井上道義、大阪フィルハーモニー交響楽団、合唱団 曲目／メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲、「夏至の夜の夢」ほか	679名
	大阪フィルハーモニー交響楽団との共催で贈るオーケストラ公演。メンデルスゾーン生誕200年記念で井上道義氏が企画。	
11/25 (水)	グランプリ・コンサート2009 出演／ダリ・ピアノトリオ 曲目／ブラームス:ピアノ三重奏曲第3番、 シューベルト:ピアノ三重奏曲第2番 ほか	516名
	3年に1回、いたみホールを会場として開催している日本室内楽国際コンクールの優勝者による演奏会。読売テレビとの共催で毎年開催している。今回は2008年第2部門優勝者によるもの。	
1/27 (水)	大阪フィルハーモニー交響楽団 いたみホール特別演奏会Ⅱ 出演／下野竜也、大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目／メンデルスゾーン:吹奏楽のための序曲、 R.シュトラウス:ソナチネ第2番「楽しい仕事場」ほか	574名
	大阪フィルハーモニー交響楽団との共催で贈るオーケストラ公演。第2回目は管楽器プレイヤーだけで吹奏楽が中心の選曲。	